

第14回 『田の草取り、大豆の種まき』

と き 平成22年7月10日(土) 9:30 - 17:30

ところ な～に谷っ戸ん田、堀の内の畑

天 気 晴れときどき曇り(梅雨の晴れ間、暑い風が吹くと涼しさあり)

参加者 石田、磯、オズ(12:00まで)、加藤(14:30まで)、久保、坂本、佐々木利江・
優聖(16:30まで)、柴田、高見(12:00まで)、松本純・洋子(15:00まで)、吉田
合計12名 + 子ども1名 + ハンモック研究会・野地】

【午前】

- ・ 本日は大豆作業が主であったが、前夜の雨で畑がぬかるんでいるため、午前は田んぼの作業に。
- ・ 石田さんから鎌の研ぎ方を教わり、砥石が1つだけなので、順番を待ってそれぞれ研ぎ始める。
- ・ 石田さん、吉田さんは、午後の作業に備え堀の内へ。トラクター準備、法面草取り、ぬかるみ調査。
- ・ 前週にお願いした恩田産無添加ハチミツを和久さんが持ってきてくれた。地産地消なり。
- ・ 鎌を研いだ人から谷っ戸ん田の周りの草を刈っていく。
- ・ 一汗かいて11時に休憩。さっそく豆吉号にてアイスコーヒーを注文する人も。
- ・ 田んぼ周辺の草刈りがほぼ終わり、次は田の草取りへ。5週連続の作業となった。

【昼食】ハンモックランチ(冷や汁玄米ご飯、他)

- ・ ランチの後は、色とりどりのハンモックが満席。午前の作業は、きつかったようだ。
- ・ 久保は、本格的な虫網を使ってオニヤンマを待つが現れず。決戦は次週へ持ち越し。
- ・ 午後の作業前に、石田さんが今年度の作業計画を説明。今年は責任を持って大豆をやることで合意。

【午後】

- ・ 堀の内の畑へ自転車、バイク、自家用車、グリーン社有車(バン、軽トラ)を使って11名が移動。
- ・ 石田さんがお手本としてトラクターでまず耕す。その後は、柴田さんと吉田さんが運転。
- ・ 石田さんがバケツに入った大豆(約3kg)にキヒゲンをまぶす。薄黄色から鮮やかな赤へ変身。
- ・ キヒゲンの正式名称は、キヒゲンR-2フロアブル(チラウム水和剤)。種子消毒と鳥類の食害を防止。
- ・ その他の人達は、畑の周りの草取り。大場さんの畑の草取りも。
- ・ 14時半過ぎに加藤さんが帰宅。15時前には松本夫妻が帰宅。残りは8名。これからが本番なのに。
- ・ 15時になって休憩。吉田さんがガリガリ君をバイクで買いに行く。見事に当たりを出したのは柴田さんのみ。ガリガリ君の当選確率は1/8であることが判明。
- ・ クリーンシーダ(ロール式播種機)を使って、種まきスタート。詳細は下記の図に。
- ・ 種まき完了後、石田さん、磯さん、柴田さん、久保は谷っ戸ん田に戻り片付け。17:30解散。
- ・ さらに、石田さん、柴田さんはグリーンで最後の片付け。

(記録:久保 文雄)

